

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-1	誤記訂正 (旧) 1次冷却系を減温、減圧し、余熱除去ポンプを用いた炉心注水により、炉心を冷却する。 (新) 1次冷却系を減温、減圧し、余熱除去ポンプを用いた炉心注水により炉心を冷却することによって炉心損傷の防止を図る。	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-2	記載の適正化 (旧) 2次冷却系強制冷却, (新) 2次冷却系強制冷却並びに	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	3	同上	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-2	誤記訂正 (旧) 健全性を維持とするため (新) 健全性を維持するため	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-2	判定プロセスを示した図を新規作成したため図番号を変更 (旧) 手順の概要を第7.1.6.2図から第7.1.6.4図 (新) 手順の概要を第7.1.6.2図から第7.1.6.5図 ※この変更に伴い、以降の図番号を変更した	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	3	同上	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-2	大飯の記載の反映 (旧) 中央監視・指示 (新) 中央監視及び指示	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	3	同上	
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-5, 33	記載の適正化 (旧) k. 再循環運転への切替 (新) k. 再循環運転への切替え	
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	8, 57	同上	
11	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-5, 33	記載の適正化 (旧) 低圧再循環運転へ切替え, (新) 低圧再循環運転へ切り替え,	
12	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	8, 57	同上	
13	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-10, 13, 15	女川実績の反映 (旧) 原子炉格納容器圧力 (新) 原子炉格納容器バウンダリにかかる圧力	
14	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	22, 25, 26, 29	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
15	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-25	女川実績の反映 (旧) 実態の操作開始時間は解析上の設定とほぼ同等であることから、 (新) 運転員等操作時間に与える影響として、実態の操作開始時間は解析上の設定とほぼ同等であることから、	
16	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	46	同上	
17	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	53	相違理由が抜けていたため追記	
18	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-31~33	重大事故等対処設備のうち既許可の対象となっている設備を重大事故等対処設備に位置付けるものについて、*を追加	
19	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	55~57	同上	
20	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-37	概略系統図に破断箇所を明示	
21	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	61	同上	
22	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-38, 39	判定プロセスを示した図を新規作成 (大飯実績反映)	
23	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	62, 63	同上	
24	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	62, 63	判定プロセスを示した図の追加に伴い、相違理由も適正化	
25	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-40~42	判定プロセスを示した図を別途作成したため、フローから削除し、体裁を整えた。	
26	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	64~66	同上	
27	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	7.1.6-43~45	用語統一 (旧) ガレキ (新) がれき	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
28	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	添7.1.6.3-1	相違理由の追記 (旧) ・泊は1台のポンプで注水し続けるが、大飯は水源が枯渇する前までに水源の異なるポンプに切り替え (新) ・代替炉心注水に関しては、泊は1台のポンプで燃料取替用水ピットに補給することで注水し続けるが、大飯は水源が枯渇する前までに水源の異なるポンプに切り替え注水を継続するため2台のポンプがある	
29	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	添7.1.6.8-1	誤記修正 (旧) 安定停止状態が確立されてものとする。 (新) 安定停止状態が確立されたものとする。	
30	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	添7.1.6.8-1	同上	
31	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	添7.1.6.9-1	記載の適正化（記載順の入替え） (旧) 約12分（731秒）後に蓄圧注入が開始されるとともに、事象発生約11分（683秒）後に2次冷却系強制冷却を開始することで、 (新) 約11分（683秒）後に2次冷却系強制冷却を開始し、事象発生の約12分（731秒）後に蓄圧注入が開始されることで、	
32	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	添7.1.6.9-1	同上	
33	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	添7.1.6.10-1	誤記修正 (旧) 2次冷却系強制冷却の効果は大きくなること。 (新) 2次冷却系強制冷却の効果は大きくなる。	
34	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	添7.1.6.10-1	誤記修正 (旧) 燃料被覆管温度は初期値以下となる (新) 燃料被覆管温度は初期値（約380℃）以下となる	
35	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716 r.6.0)	添7.1.6.10-1	誤記修正 (旧) 以上のことから、2次系強制冷却操作の (新) 以上のことから、2次冷却系強制冷却操作の	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
36	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.6 ECCS注水機能喪失 (SAE716-9 r.6.0)	添7.1.6.13-1	相違理由の新規追記 (新) 記載方針の相違 ・水素化物再配向の影響が表れるのは燃料被覆管温度が上昇する場合だが、 炉心露出し燃料被覆管温度が上昇する事象が女川はTBDシーケンスに対して泊 はLOCA事象のため、記載が異なる	